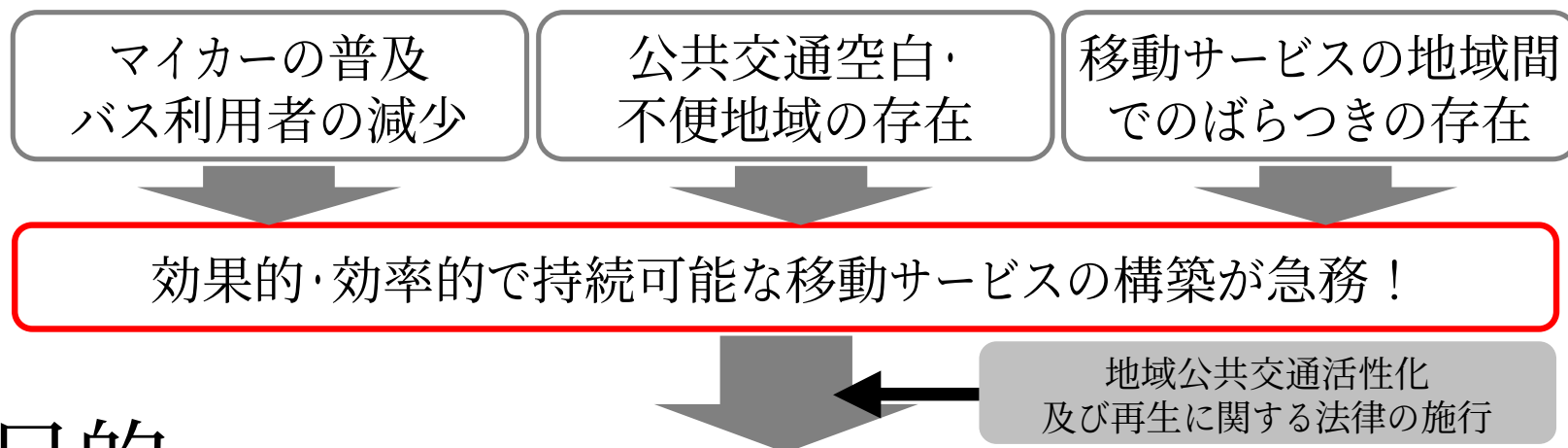


呉市地域公共交通 総合連携計画策定調査について

呉市地域公共交通協議会

背景・目的

○背景



○目的

呉市地域公共交通総合連携計画の策定

- 呉市全市における公共交通の基本方針等を検討
- 短期的課題については、「地域公共交通特定事業」に位置付け、事業計画を検討
- 利用促進や地域で支えるしくみづくり等についても検討

効果的・効率的で持続可能な移動サービスの提供

地域公共交通活性化再生事業とは

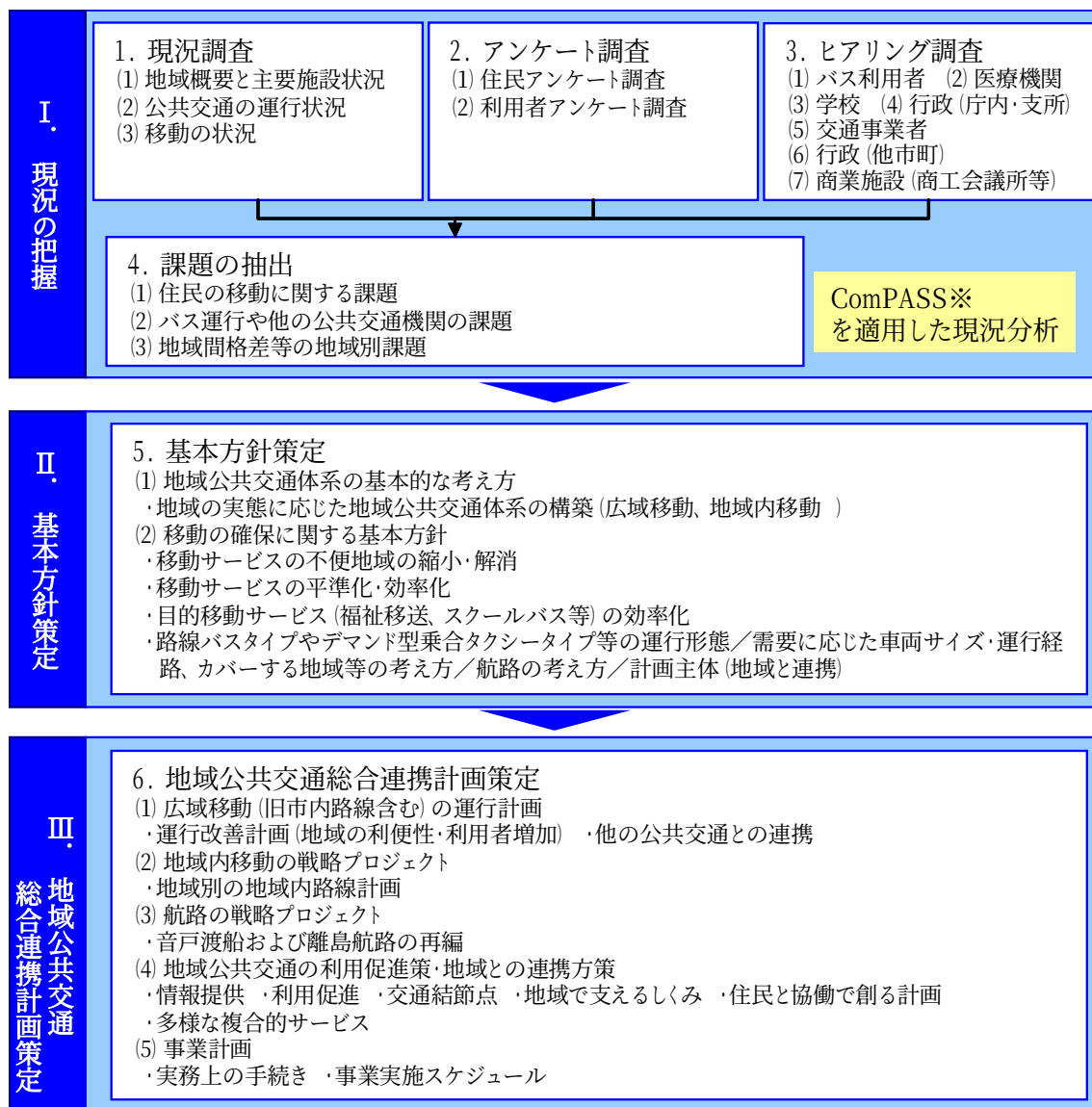
地域公共交通活性化・再生総合事業

地域公共交通活性化・再生法の目的を達成するため、同法を活用し、地域の多様なニーズに応えるために鉄道、コミュニティバス・乗合タクシー、旅客船等の多様な事業に取り組む地域の協議会に対し、パッケージで一括支援する柔軟な制度を新たに設けることにより、地域の創意工夫ある自主的な取組みを促進する。



資料;国土交通省HPより

調査・検討フロー



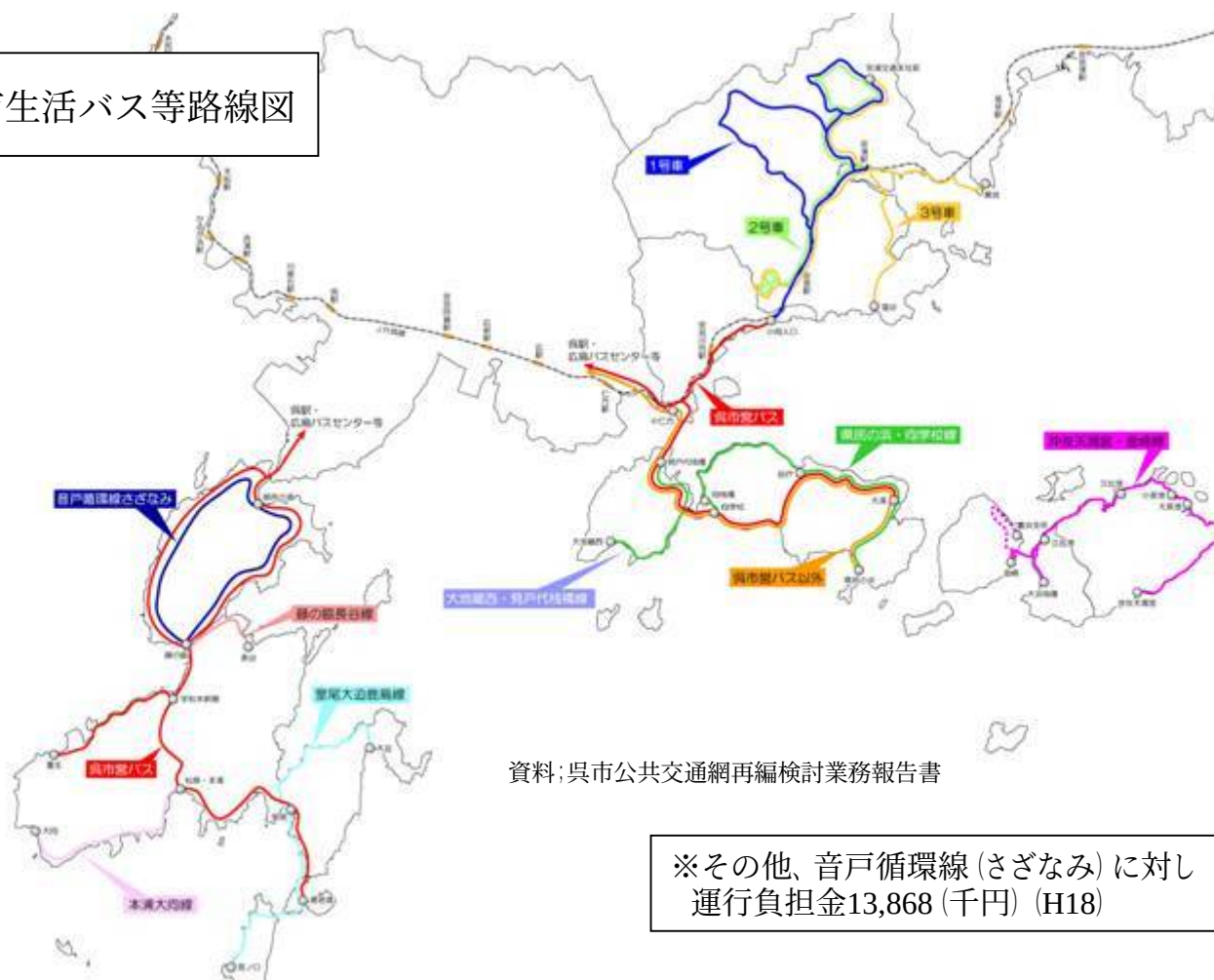
※ComPASS
中国運輸局が開発した地域バス
運行計画策定支援ソフト

呉市の公共交通体系



公共交通の状況（生活バス等）

呉市生活バス等路線図



資料：呉市公共交通網再編検討業務報告書

※その他、音戸循環線(さざなみ)に対し
運行負担金13,868(千円)(H18)

各地域の生活バス等のサービス（H18）

路線数 経路	・下蒲刈地区;1路線 ・蒲刈地区;1路線 ・安浦地区;3路線 ・豊浜・豊地区;1路線 ・倉橋地区;3路線 ・川尻地区;1路線 ・音戸地区;1路線
運行回数 ※便:往復を1便とする。	一日あたり1便(倉橋地区)～ 15便(豊浜・豊地区) ※曜日運行の地域あり
運賃	・下蒲刈地区;70円、120円 ・蒲刈地区;100円～390円 ・安浦地区;1回乗車200円均一 ・豊浜・豊地区;100円～350円 ・倉橋地区;150円～560円 ・川尻地区;1回乗車150円均一 ・音戸地区;150円～680円 (小学生以下は半額)

生活バスの収支状況（H18実績）

運行収入 ①	25,495
運行経費 ②	124,125
損益 ① - ②	△ 98,630
H18運行負担金	96,533
第3種生活交通路線 維持費補助金(県)	22,737

單位：千円

公共交通の状況（航路）



各航路のサービス

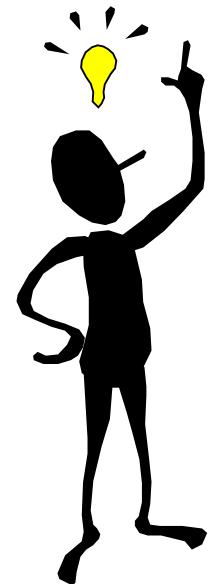
航路	・三角～久比航路 ※三角島人口43人 (H19.9住基) ・斎島～久比航路 ※斎島人口27人 (H19.9住基) ・情島航路 ※情島人口12人 (H19.9住基) ・音戸渡船
運航回数 ※便:往復を1便とする。	一日あたり3便～5便 ※日祝運休の航路あり ※音戸渡船は既定の運航回数なし
運賃	・三角～久比航路;130円 ・斎島～久比航路;160～450円 ・情島航路;210円 ・音戸渡船;70円

航路への市費負担状況

市費負担	23,648千円
内訳	・三角～久比航路;4,314千円 ・斎島～久比航路;8,634千円 ・情島航路;8,300千円 ・音戸渡船;2,400千円
備考	・三角～久比航路は国、県からの補助、斎島～久比航路は県からの補助をそれぞれ差し引いた額 ・情島航路は8,300千円/年、音戸渡船は2,400千円/年の定額負担

現時点での課題認識

- 合併前の地域間でばらついた移動サービスの見直し
(全市で統一的な考え方にもとづく基準の設定)
- 公共交通空白・不便地域の削減
- 効果的、効率的な移動の確保
- 交通結節機能の向上 など

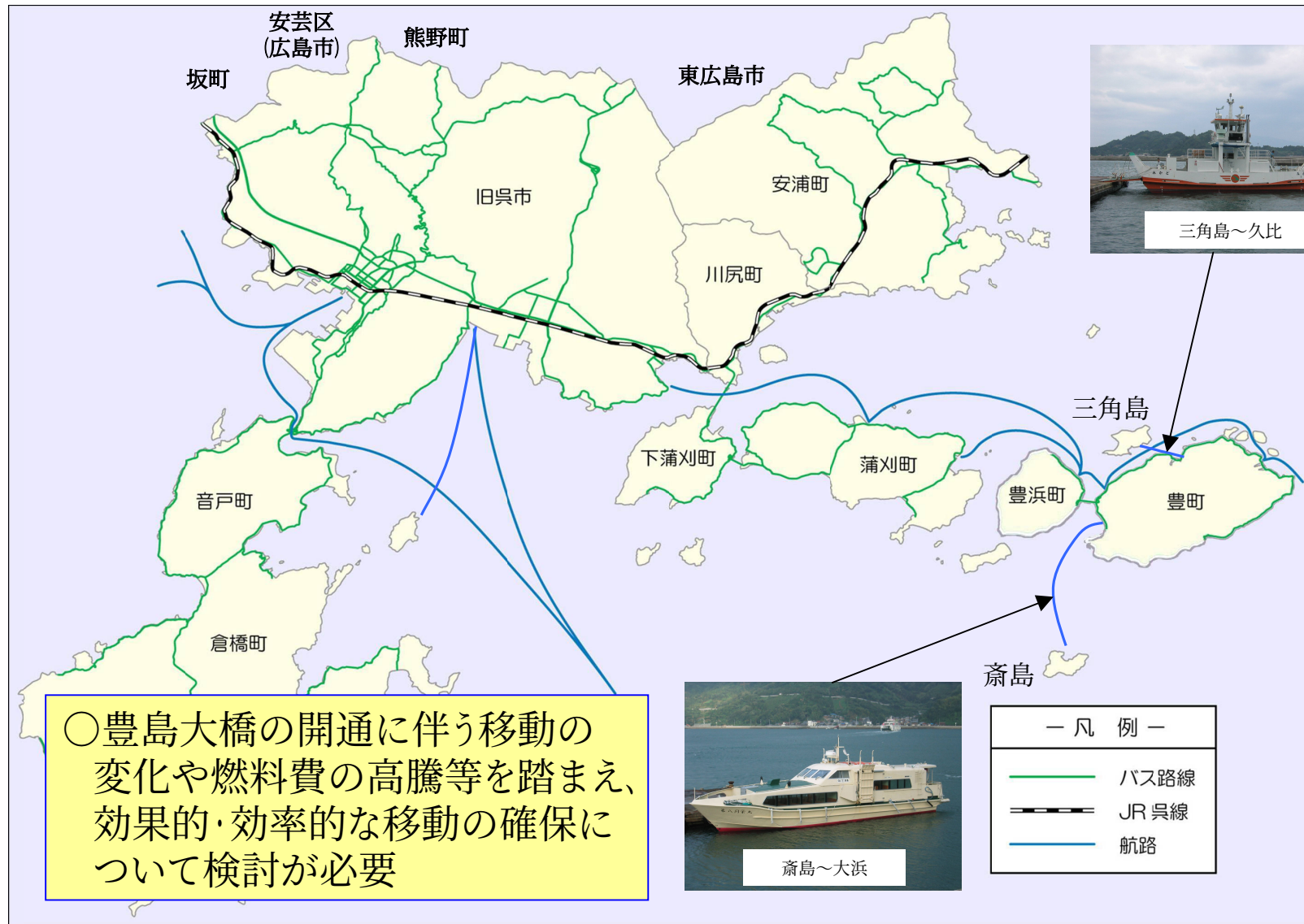


課題の例) 公共交通空白・不便地域の削減



資料: 呉市公共交通網再編検討業務報告書

課題の例) 効果的・効率的な移動の確保 (離島航路)



課題の例) 交通結節機能の向上 (音戸渡船)



○両岸で一体の生活圏をなす地域における歩行者や自転車等の移動を担う音戸渡船の交通結節機能の向上について検討が必要(待合所の整備、他の交通機関との乗り継ぎ等)

今後の進め方

検討項目	7	8	9	10	11	12	1	2	3
(1) 現況調査	←→								
(2) アンケート調査		←→							
(3) ヒアリング調査		←→							
(4) 課題の抽出			←→						
(5) 基本方針策定				←→					
(6) 地域公共交通総合 連携計画策定					←→				
協議会開催 (予定)	●			●				●	